
2022年3月期第2四半期 決算説明会

2021年11月25日



極東貿易株式会社

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

TOKYO, JAPAN



目次

2022年3月期第2四半期決算概要

2022年3月期見通しについて

新中期経営計画
「KBK プラスワン 2025」の取組みについて

配当政策

2022年3月期第2四半期決算概要



2022年3月期第2四半期決算概要

連結 P / L

(単位：百万円)

| | 2021年3月期 2Q累計 | 2022年3月期 2Q累計 | 前年同期比 |
|---------------------|------------------|------------------|--------|
| 売上高 | 23,467 | 19,002 | ▲4,464 |
| 売上総利益 | 3,267 | 3,835 | 567 |
| 販管費 | 3,527 | 3,634 | 106 |
| 営業利益 | ▲259 | 201 | 460 |
| 経常利益 | 43 | 518 | 475 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | ▲211 | 133 | 344 |

売上高

2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）の適用により減収

営業利益

- ・ねじ関連事業が新型コロナウイルスの影響から回復
- ・海外プラント向け重電事業が好調に推移

親会社株主に帰属する当期純利益

・構造改革の一環として実施のブラジル現地法人撤退による関係会社出資金評価損等の特別損失が発生

一方、経常増益に加え、投資有価証券売却益の計上により増益



2022年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント

基幹産業関連部門

(単位：百万円)

重電設備

海外プラント向けが新興国を中心に好調に推移したことから増益

資源開発機器

一部コロナの影響が続き減益

検査装置

新型コロナウイルスの影響を大きく受けた前年同期に比べ改善基調

| 連 結 | 2021年3月期 2Q累計 | | 2022年3月期 2Q累計 | | 増減金額 | |
|--------|------------------|-------|------------------|-------|--------|-------|
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| 重電設備 | 4,945 | 420 | 2,890 | 605 | ▲2,054 | 184 |
| 鉄鋼関連 | 695 | 70 | 167 | 43 | ▲528 | ▲26 |
| 資源開発機器 | 358 | 90 | 259 | 78 | ▲99 | ▲11 |
| 検査装置 | 443 | 71 | 514 | 100 | 71 | 29 |
| その他 | 112 | 8 | 6 | 6 | ▲115 | ▲2 |
| 合 計 | 6,554 | 660 | 3,838 | 834 | ▲2,726 | 173 |

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



2022年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント

電子・制御システム関連部門

(単位：百万円)

航空電子

新型コロナウイルスの影響からの回復により増益

電子機器

低調に推移し減益

計装システム

火力発電所向け販売代理業務を終了、受注済み案件の計上に留まり減益

| | 2021年3月期 2Q累計 | | 2022年3月期 2Q累計 | | 増減金額 | |
|--------|------------------|-------|------------------|-------|--------|-------|
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| 航空電子 | 859 | 140 | 690 | 162 | ▲169 | 21 |
| 電子機器 | 1,721 | 291 | 1,316 | 166 | ▲394 | ▲124 |
| 計装システム | 3,188 | 230 | 155 | 124 | ▲3,032 | ▲105 |
| 合計 | 5,769 | 662 | 2,163 | 453 | ▲3,596 | ▲208 |

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



2022年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント

産業素材関連部門

(単位：百万円)

樹脂・塗料

新型コロナウイルスの影響大だった前年同期からは改善も伸び悩み

複合材料

新型コロナウイルスの影響から回復の兆しが見え増益

| | 2021年3月期 2Q累計 | | 2022年3月期 2Q累計 | | 増減金額 | |
|-------|------------------|-------|------------------|-------|------|-------|
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| 樹脂・塗料 | 3,940 | 577 | 4,104 | 602 | 163 | 24 |
| 複合材料 | 1,078 | 155 | 654 | 170 | ▲423 | 14 |
| 食品関連 | 351 | 56 | 342 | 52 | ▲9 | ▲3 |
| 合計 | 5,370 | 790 | 5,100 | 825 | ▲269 | 35 |

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



2022年3月期第2四半期決算概要

事業の種類別セグメント

機械部品関連部門

(単位：百万円)

ねじ関連

建設機械向け、産業機械向けが好調に推移し大幅に増益

ばね関連

自動車向け定荷重ばねが好調に推移し増益

| | 2021年3月期 2Q累計 | | 2022年3月期 2Q累計 | | 増減金額 | |
|------|------------------|-------|------------------|-------|-------|-------|
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| ねじ関連 | 5,373 | 1,022 | 7,386 | 1,497 | 2,012 | 475 |
| ばね関連 | 398 | 132 | 513 | 225 | 115 | 93 |
| 合計 | 5,771 | 1,154 | 7,899 | 1,722 | 2,127 | 568 |

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



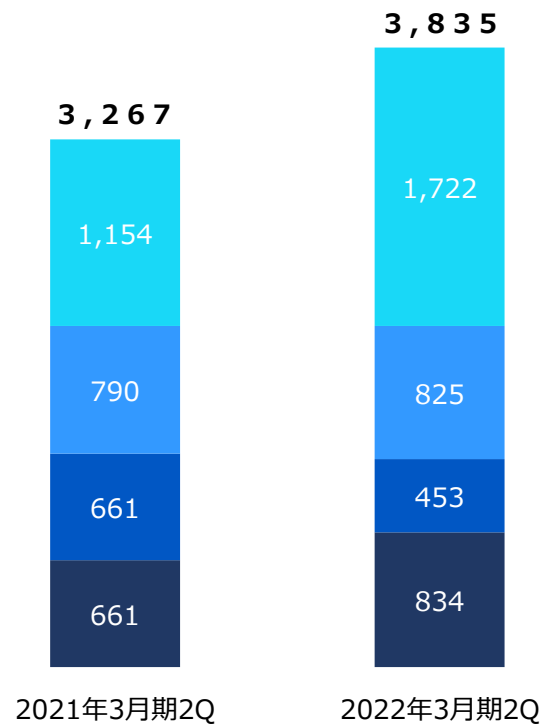
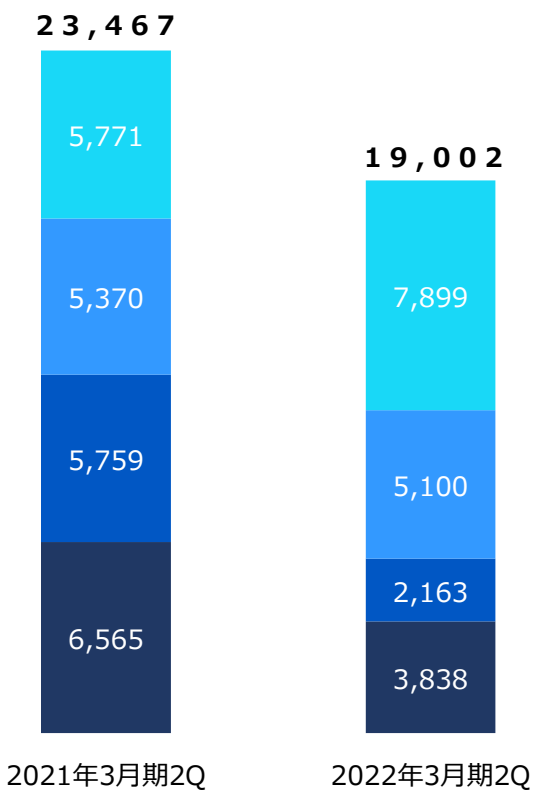
2022年3月期第2四半期決算概要 (事業セグメント別)

売上高

売上総利益

■ 基幹産業関連 ■ 電子・制御システム関連 ■ 産業素材関連 ■ 機械部品関連

(単位：百万円)



※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用

2022年3月期業績見通し



2022年3月期業績見通し

2022年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

| 連結 | 2021年3月期 | 2022年3月期 2Q | 2022年3月期 |
|-------------------------|----------|----------------|----------|
| | 実績 | 実績 | 通期見通し |
| 売上高 | 57,405 | 19,002 | 40,000 |
| 売上総利益 | 7,580 | 3,835 | 8,500 |
| 営業利益 | 362 | 201 | 850 |
| 経常利益 | 734 | 518 | 1,250 |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 278 | 133 | 850 |

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）を適用





2022年3月期業績見通し

2022年3月期事業セグメント別 業績見通し

基幹産業関連部門

(単位：百万円)

| 連結 | 2021年3月期 | | 2022年3月期 | | 2022年3月期 | |
|--------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | 通期実績 | | 2Q実績 | | 通期見通し | |
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| 重電設備 | 17,320 | 1,160 | 2,890 | 605 | 6,800 | 1,500 |
| 鉄鋼関連 | 1,618 | 195 | 167 | 43 | 1,000 | 200 |
| 資源開発機器 | 824 | 222 | 259 | 78 | 1,000 | 350 |
| 検査装置 | 1,363 | 316 | 514 | 100 | 1,250 | 310 |
| その他 | 413 | 27 | 6 | 6 | 20 | 20 |
| 合計 | 21,539 | 1,922 | 3,838 | 834 | 10,070 | 2,380 |

重電設備事業：海外プラント向けが引き続き好調。国内プラント向けも堅調が予想され、増益見込み

鉄鋼関連事業：前年度並みの利益となる見込み

資源開発機器事業：前年度延期となっていた大型案件の納入に加え、地熱・掘削機器関連も好調が見込まれ増益予定

検査装置事業：自動車業界の回復の遅れからコロナ前の水準には戻らない見通し

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



2022年3月期業績見通し

2022年3月期事業セグメント別 業績見通し

電子・制御システム関連部門

(単位：百万円)

| 連 結 | 2021年3月期 | | 2022年3月期 | | 2022年3月期 | |
|--------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | 通期実績 | | 2Q実績 | | 通期見通し | |
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| 航空電子 | 1,887 | 305 | 690 | 162 | 1,500 | 450 |
| 電子機器 | 2,577 | 438 | 1,316 | 166 | 2,300 | 340 |
| 計装システム | 5,677 | 383 | 155 | 124 | 330 | 260 |
| 合 計 | 10,142 | 1,127 | 2,163 | 453 | 4,130 | 1,050 |

航空電子事業：新型コロナウイルスの影響からの回復で画像関連事業等が堅調に推移することが見込まれ増益予定

電子機器事業：半導体関連事業の縮小に加え、地震計事業の売上本格化は来年度以降となるため減益となる見込み

計装システム事業：受注済み案件が減少で減益となる見込み

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



2022年3月期業績見通し

2022年3月期事業セグメント別 業績見通し

産業素材関連部門

(単位：百万円)

| 連 結 | 2021年3月期 | | 2022年3月期 | | 2022年3月期 | |
|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | 通期実績 | | 2Q実績 | | 通期見通し | |
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| 樹脂・塗料 | 9,617 | 1,360 | 4,104 | 602 | 8,050 | 1,070 |
| 複合材料 | 2,129 | 299 | 654 | 170 | 1,350 | 370 |
| 食品関連 | 1,005 | 160 | 342 | 52 | 900 | 180 |
| 合 計 | 12,753 | 1,820 | 5,100 | 825 | 10,300 | 1,620 |

樹脂・塗料事業：半導体不足などの影響で自動車業界がグローバルに影響を受け、国内外向け伸び悩みで減益となる見通し

複合材料事業：航空機業界向け炭素繊維関連の復調が来年度後半まで見込めないものの、それ以外については復調の兆しが見られ増益予定

食品関連事業：一部の機器納入で翌期への遅延があるものの、食肉加工業界向けの排水処理設備の受注が見込まれ増益予定

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



2022年3月期業績見通し

2022年3月期事業セグメント別 業績見通し

機械部品関連部門

(単位：百万円)

| 連 結 | 2021年3月期 | | 2022年3月期 | | 2022年3月期 | |
|------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | 通期実績 | | 2Q実績 | | 通期見通し | |
| | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 | 売上高 | 売上総利益 |
| ねじ関連 | 12,142 | 2,444 | 7,386 | 1,497 | 14,500 | 3,050 |
| ばね関連 | 828 | 266 | 513 | 225 | 1,000 | 400 |
| 合 計 | 12,970 | 2,710 | 7,899 | 1,722 | 15,500 | 3,450 |

ねじ関連事業：昨年度終盤から復調の建設機械向け、産業機械向け等が引き続き堅調でタイ拠点向けの復調も見込まれ増益予定

ばね関連事業：コロナ禍の影響で受注延期となっていた車載備品用定荷重ばねの量産受注が見込まれ増益予定

※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用



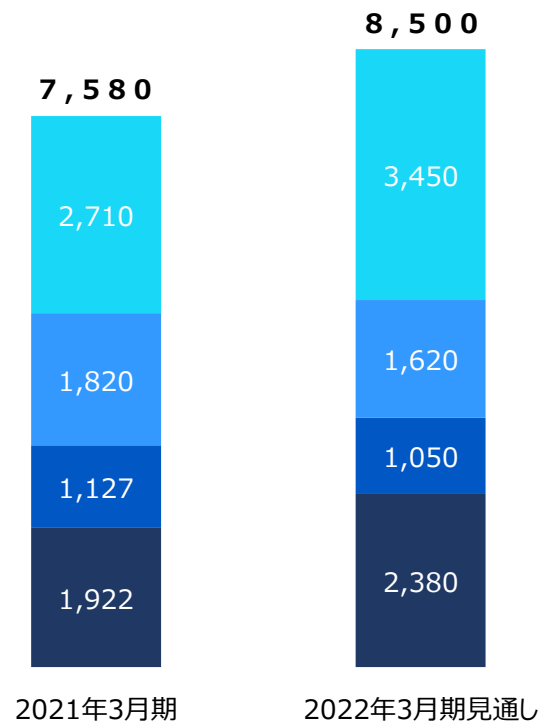
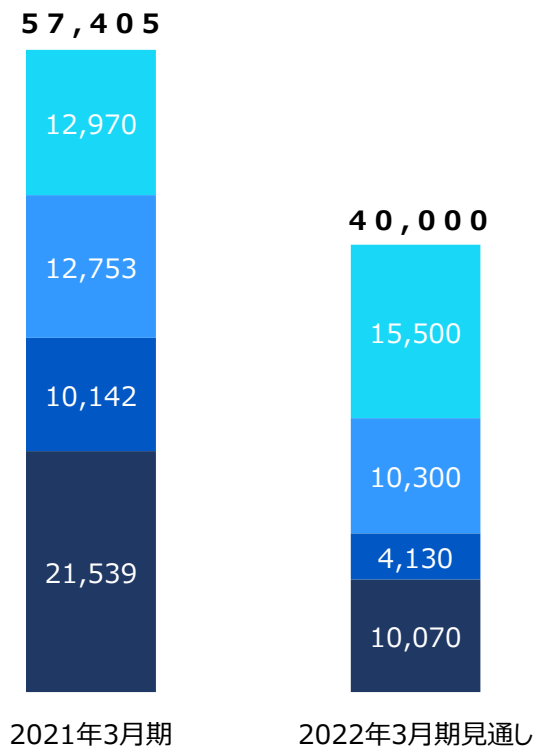
2022年3月期業績見通し

売上高

売上総利益

■ 基幹産業関連 ■ 電子・制御システム関連 ■ 産業素材関連 ■ 機械部品関連

(単位：百万円)



※2022年期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用

新中期経営計画 「KBK プラスワン 2025」の取組みについて



「KBK プラスワン 2025」の資本政策

プライム市場上場と維持を目的とした企業価値向上策としての資本政策

■ 適合状況

【移行基準日（6月30日）時点での適合状況の判定結果】

| 流通株式時価総額 | 株価 | 適合状況 |
|----------|-------------|------|
| 98億円 | 1,912円 (※1) | × |

【7月～9月における適合状況】

※（当社試算による）

| 流通株式時価総額 | 株価 | 適合状況 |
|------------|-------------|------|
| 130億円 (※2) | 2,548円 (※3) | ○ |

※1 株式会社東京証券取引所より2021年7月9日付で受領した「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」で示されている株価（2021年4月～6月における日々の最終価格の平均値）

※2 一次判定の際と同じ流通株式数で算出した流通株式時価総額

※3 2021年7月～9月における日々の最終価格の平均値

移行基準日時点での適合結果でプライム市場上場維持基準に不適合であった「流通株式時価総額」に関しては、現時点において適合水準に到達

プライム市場を選択した市場選択申請書と上場維持基準の適合に向けた計画書を提出

※（当社試算による）



「KBK プラスワン 2025」の重点施策

KBKプラスワン2025における3つの重点施策

◆ サステナブルな社会を実現するための新分野における事業展開と投資実行

◆ 株主価値に資する資本政策の実行

◆ パラダイムシフトの中で「想像」し「創造」できる人材の育成

サステナブルな社会実現に向けた5つの分野での成長ドライバーに注力



既存の事業セグメントを横断するプロジェクトを組成



再生可能エネルギー分野：洋上風力発電関連事業

資源開発関連事業で培ってきた

経験と知見を活かし洋上風力発電に関連する事業に注力

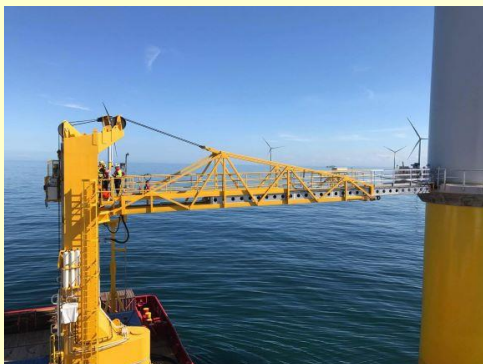
【背景】政府の洋上風力発電目標は2030年までに10GW
2040年までに30～45GW以上（原子力発電所40基分相当）
→ 建設関連機器のニーズの高まり

再生可能エネルギー



◆ 建設関連機器およびサービスへの注力

- 洋上特殊タラップ（舷梯）システム
- 特殊大型治具の設計、製作、機器の提供
- 海中監視・作業用水中ロボット





水素・電池分野：燃料電池関連事業

燃料電池ビジネスを核として
各種観測、監視機器との連携、
他電池と組み合わせた電源装置ビジネスへの展開を計画

◆メタノール式小型燃料電池の国内販売を開始 用途拡大に期待

- ・ 風力発電の風況観測装置用の電源用途
- ・ 地震、火山、雪崩などの環境観測用のオフグリッド電源
- ・ 道の駅など災害時避難所における非常用電源

水素・電池





産業向けDX・IoT分野：自動運転システム関連事業

自動運転システムビジネスの経験と知見を高め

今後の完全自動運転市場で優位性確保を目指す

【背景】大規模製造現場構内の搬送分野における

自動運転による労働環境改善とコスト低減へのニーズの高まり

産業向けDX
IoT



◆ 構内用特殊車両の自動運転システムビジネス

- ・ 現行車両の後付け改造で新規導入に伴う
経済負担を軽減
- ・ 完全自動運転車両実現まで上記車両を販売
- ・ 本格的な自動化対応への
段階的かつ現実的なソリューションを提供



配当政策



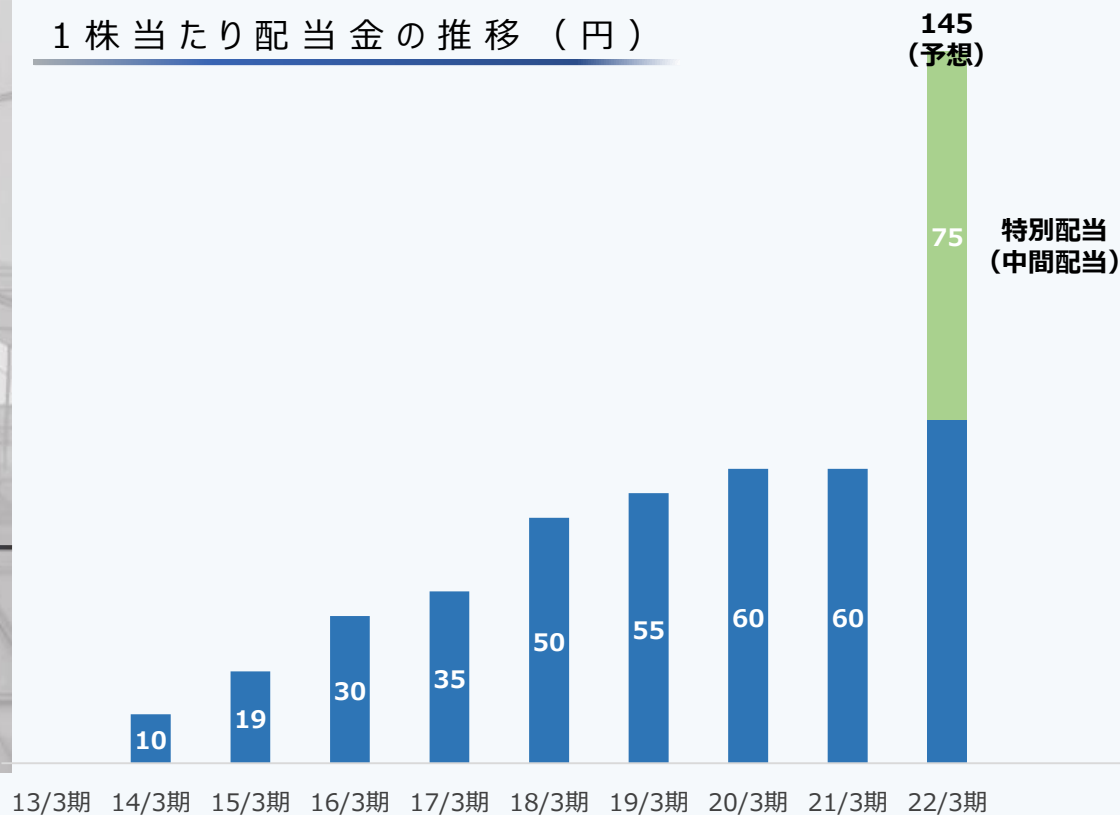
配当に関して

実施予定だった
自己株式取得の代わりとして
1株当たり75円の特別配当を
中間配当のタイミングで実施

「KBKプラスワン2025」の配当政策

企業価値向上に資する資本政策を機動的に実行する方針を掲げ
持続的成長を実現するとともに株主の皆様への積極的な株主還元を実施する

1株当たり配当金の推移（円）



注：一株当たり配当金の数字は、2018年10月1日の株式併合考慮後の数値



極東貿易株式会社

見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。